

アメーバ赤痢

千葉県では、2015年44週に3例の届出があり、2015年1～44週の累計は44例となった。2008年以降年間40例を超える届出がある。全国的には、2012年以降増加がみられていたことから、千葉県で2010年～2015年44週に届出された314例の発生動向をまとめた。

年別では、2010年49例、2011年52例、2012年55例、2013年66例、2014年48例、2015年1～44週44例の届出があった(図、表)。

性別では、男性263例(83.8%)、女性51例(16.2%)で男性が多い(表)。

年齢群別では、30代～60代が262例で83.4%を占めた(表)。

図 2010年～2015年44週千葉県のアメーバ赤痢
年別・性別届出数 314例

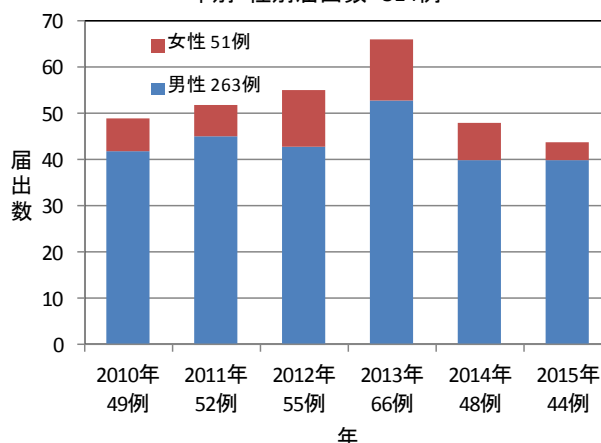


表 2010年～2015年44週千葉県のアメーバ赤痢性別・年齢群別・年別届出数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性 男性	42	85.7	45	86.5	43	78.2	53	80.3	40	83.3	40	90.9	263	83.8
別 女性	7	14.3	7	13.5	12	21.8	13	19.7	8	16.7	4	9.1	51	16.2
10代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.5	0	0.0	2	4.5	3	1.0
20代	3	6.1	4	7.7	5	9.1	4	6.1	0	0.0	2	4.5	18	5.7
30代	12	24.5	11	21.2	13	23.6	11	16.7	6	12.5	6	13.6	59	18.8
40代	12	24.5	11	21.2	10	18.2	22	33.3	16	33.3	10	22.7	81	25.8
50代	11	22.4	13	25.0	5	9.1	11	16.7	10	20.8	11	25.0	61	19.4
60代	6	12.2	10	19.2	14	25.5	14	21.2	10	20.8	7	15.9	61	19.4
70代	5	10.2	2	3.8	7	12.7	1	1.5	5	10.4	2	4.5	22	7.0
80代	0	0.0	1	1.9	1	1.8	2	3.0	0	0.0	4	9.1	8	2.5
90代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.1	0	0.0	1	0.3
合計	49	100.0	52	100.0	55	100.0	66	100.0	48	100.0	44	100.0	314	100.0

病型は、腸管アメーバ症281例(89.5%)、腸管外アメーバ症29例(9.2%)、腸管及び腸管外アメーバ症4例(1.3%)だった。

症状等は、下痢186例(59.2%)、粘血便182例(58.0%)、腹痛98例(31.2%)、しぶり腹63例(20.1%)、発熱53例(16.9%)、大腸粘膜異常所見46例(14.6%)、肝膿瘍32例(10.2%)、その他(便潜血)20例(6.4%)、右季肋部痛15例(4.8%)、鼓腸12例(3.8%)、肝腫大3例(1.0%)、腹膜炎2例(0.6%)、胸膜炎1例(0.3%)だった(複数報告あり)。

診断方法は、鏡検による病原体の検出258例(82.2%)、血清抗体の検出68例(21.7%)、ELISA法による病原体抗原の検出1例(0.3%)、その他の方法8例(2.5%)だった(複数報告あり)。

感染経路として推定または確定されたのは、不明143例(45.5%)、経口感染95例(30.3%)、性的接触(異性間)42例(13.4%)、性的接触(性交)39例(12.4%)、性的接触(同性間)16例(5.1%)、性的接触(経口)13例(4.1%)、性的接触(不明)9例(2.9%)だった(複数報告あり)。

感染地域として推定または確定されたのは、国内266例(84.7%)、国外54例(17.2%)だった(複数報告あり)。

<参考>

1) 国立感染症研究所病原微生物検出情報 (IASR) Vol. 35 p. 223-224 : 2014年9月号

アメーバ赤痢報告数の増加、2010～2013年

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol35/4986-iasr-415.html>